

# ～M&Kの2大事業（バスエアコン）解説～



バスエアコン  
お風呂じゃないよ  
バス エアコン!!



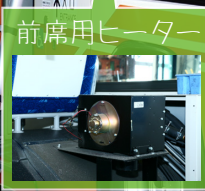
屋根上ユニット  
(凝縮器と蒸発器)



室内から見た  
屋根上ユニット



運転席ヒーター



前席用ヒーター



後席用ヒーター

バスのメインエンジン  
このエンジンを冷やす  
冷却水（温水）を活用して  
暖房にしている

冷房として冷やすための  
冷媒をサイクル内に  
循環する役目の圧縮機  
メインエンジンとベルトで  
繋がれ回転圧縮される

## バスエアコンの仕組み

バスエアコンと言っても、路線バスではエアコンではなく、実はクーラー&ヒーターでそれぞれ独立した機械だ。

「バスクーラー」バスクーラーの構造は主に①圧縮機（コンプレッサー）、②凝縮器（コンデンサ）、③蒸発器（エバポレータ）から成る。

これら機器を配管でつなぎ冷却するためのガス（冷媒）が封入されている。

仕組みを例えるなら、肌アルコール塗った際にひんやりとする現象と同じ。上記①→②→③の過程で周囲の空気の熱を奪う気化熱により冷えるのが基本原理。

「バスヒーター」バスヒーターの構造はエンジンから循環して流れる冷却水を活用した温水暖房器である。概ね水温は60度ぐらい。この温水熱に風を当てて吹き出すことで温風となる。熱源が温水の為、室内が乾燥しにくい利点もある。

